

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和58年11月21日 第31報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas reginae</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	160		
(珪) <i>Melosira distans</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	40		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	560	○	◎
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i>	40		
(緑) <i>Schroederia judayi</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	20	1.2	0.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	1.2	1.4
(珪) 珪藻綱	320	18.6	10.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	2.3	21.1
(褐) 褐色鞭毛藻綱	560	32.6	32.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	760	44.2	34.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1720		
種類数	14	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	2.96E+06

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Cryptomonas</i> sp.	560

### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Cryptomonas* sp.**  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。